

ソーシャルワーク実践教育セミナー ～学びの循環に向けて～

日本社会事業大学は80年の歴史をもち、福祉現場に多くの実践者を輩出してきました。豊富なキャリアを持つ卒業生・修了生が、職場・所属機関を超えて教育機関の教育者や演習・実習指導者となり後進を養成、育成していく、学びの循環、効果的な教育循環過程をつくるための仕組みづくりを考えてみたいと思います。

木戸 宜子（大学院福祉マネジメント研究科教授）
佐竹 要平（通信教育科准教授 社会福祉士一般養成課程主任）
酒本 知美（通信教育科准教授 精神保健福祉士短期養成課程主任）
須江 泰子（大学院福祉マネジメント研究科准教授）

日本社会事業大学 共同研究
「現任実践者のためのソーシャルワーク実践教育モデルの開発」による

後援：日本ソーシャルワーク教育学校連盟



プログラム		発題者
前半 その1	1 開催の挨拶・趣旨説明	木戸 宜子
	2 社会人を対象とした社会福祉士取得のための実践教育	佐竹 要平
前半 その2	3 社会人を対象とした精神保健福祉士取得のための実践教育	酒本 知美
	4 専門職大学院修了生インタビューから実務経験者が指導者になるための視点と体験	須江 泰子
後半 その1	5 職能団体からみた教育機関に求める実践教育	岡崎 利治 氏 岡山県社会福祉士会
後半 その2	6 実践教育に関わる修了生の報告 その1 社会福祉士	吉田 千代 氏 よこはま西部ユースプラザ
	7 実践教育に関わる修了生の報告 その2 精神保健福祉士	鵜 領太郎 氏 静岡福祉大学
	8 コメント・総括	